

市長室：対話の記録

要旨

開催内容の公開

対話の内容

市長のあいさつ(はじまり)

内容

市長のあいさつ(終わり)

第 11 回目となる今回は、市内の春光西地区、春光中央地区、春光東地区にお住まいの方をはじめとする市民の皆さんと懇談しました。30 人の方が参加し、地域特有の課題や、市政やまちづくりに対する意見など、活発な意見交換が行なわれました。



| | |
|-----|-------------------------------------|
| 日時 | 平成 19 年 6 月 20 日(水) 午後 6 時 30 分～8 時 |
| 場所 | 旭川市北部住民センター 大集会室(旭川市春光5条4丁目) |
| 出席者 | ・西川市長 ・市民(30 人) |

対話の内容

市長あいさつ

皆さんこんばんは。ただいまご紹介をいただきました旭川市長の西川でございます。皆さま方には夕方のお時間を割いてこのようにたくさんお集まりいただきありがとうございます。今日は春光西、春光中央、春光東の3つの市民委員会の地域の皆さま方にご案内をさせていただきましたが、この3地区市民委員会の地区以外の方も来ていただいてもまったく構いません。これから1時間30分、8時位までの本当に限られた時間ですが、皆さま方の旭川のまちづくりに対するご意見を頂戴できればありがたいなという思いでおりますので、何とぞよろしく願い申し上げます。

今、司会の方から簡単に対話集会の意義等についての話がありましたが、各地域の皆さんや様々な団体の皆さんとこれまで対話集会を実施し、私の市長の任期中にできるだけ皆さんと対話をさせていただくことで行政を良くしていこうという思いで開催させていただいておりますし、今後とも続けていこうという思いでおります。また、意見を率直に出していただく会でありますので、皆さんもそういった気持ちでお話ししていただくようよろしくお願い申し上げます。

こちらの地域ですが、この北部住民センターの周辺にたくさん団地がございます。自衛隊の方々をはじめ公務員の皆さんがたくさん住んでいらっしゃる地域であるのかなと思いますし、またスタルヒン球場や陸上競技場があったり、藤幼稚園や教育大学の小中学校がありますし、ショッピングセンターとしてはラパークがございます。またこちら側には川が

あり、あちらには春光台の丘があります。自然にも恵まれて住みやすい便利な地域であると思っております。

地域の皆さんから市長への手紙などでご意見を頂いておりますが、春光地区から頂いたご意見では、例えば自衛隊のヘリコプターが飛行しているがもう少し周囲に配慮願えないでしょうかというようなご意見を頂いていたり、また、この地域では今年と来年の2年間の住居表示の整備が最終段階まで迎えているところでございます。春光6区の住居表示の変更を来年2月までに終える予定で今年の秋頃から始める予定であります。春光台にはミズバショウがありますし、公園もあります。そこにパークゴルフ場を整備する際に、地域の自然環境を守りながら整備していこうということで環境団体の皆さんともお話をさせてきておりましたが、一定の合意をさせていただくことができました。またそこにはトンネルのように遊具などができます。平成21年度中のオープンに向け行っていく予定であります。これは地域の市民委員会からの要望でもございましたし、今いろいろな世代の方が健康増進ですとか、スポーツに親しむということで、旭川市内でもパークゴルフをする方々が増えてきていますので、その一助にさせていただくことができばなと思っております。



また、今までこの対話集会でいろいろなご意見を頂いてきた中で、実際に市政に反映させていただいたものもあります。例えば障害者の皆さんとの対話の時に、障害者の方の施設などでも有料ごみ袋を取り扱ってもらえないだろうかというご意見をいただき、8月からそのようにさせていただくことになりました。皆さんのご意見については、引き続き検討させていただいたりしているものですが、いろいろな意見交換をさせていただいて、今後の市政に反映させていきたいというものもたくさんございます。時間のかかるもの、すぐできるものですが、道路、公園、橋の整備などお金のかかるものについては若干長期的な視点で見ていただかなければいけないですが、そのように今日まで行っているところでございます。毎回、対話集会終了後に担当する部局の職員と私が直接意見交換をして、皆さま方からの意見は全てデータベース化して進捗状況の管理をしっかりと行っております。

8月からごみの有料化が始まりますが、町内会に加入されていない方が不正排出、不法投棄をするのではないかとのご心配をこれまでの対話集会の中でもいただいているのですが、今日は環境部の職員も来ていますのでご意見があれば承ります。

また明日から議会が始まります。年4回定例会を行っており、今年2回目の第2回定例会が始まるのですが、議員は地域の皆さんの代表者でございます。議員からも明日以降いろいろな意見をいただくことになるのかなと思っております。私も就任して半年余りではありませんが、まだまだいろいろな部分で慣れていなかったり、ごちない部分もあるかもしれませんが、皆さんの意見をしっかりと聴かせていただき、市政に反映させていきたいと思っております。

今日の話とは関係ないかもしれませんが、旭川と姉妹都市や友好都市提携しているまちが世界中に4つあります。そのうちの一つの中国の黒竜江省にハルビンという人口1千万人位の都市があり、先週5日間行ってきました。そこでカルチャーショックを受けたのですが、今日本ではどんどん人口が減ってきていることが大きな問題となっておりますが、逆に中国では今人口が14、15億人位にまで増えてきているのですね。ハルビンという都市はまちなかを車で走るとまち全体が工事現場というような感じでした。超高層ビル、マンション、ホテルが1年間にどれくらい建つのでしょうか。何十棟と増えているような状況を目の当たりにしたのですが、これは日本もうかうかしていたらまずいなという思いをして帰ってきました。その一方で外から見ると建物はすごく豪華で立派なのですが、中に入ると意外とまだまだそうでもないということが分かったのがすごく勉強になりました。例えば、超一流の三つ星ホテルで、シャワー室の排水口が詰まっていて、水が全然流れていかない

ということがあったりですか、私の部屋は大丈夫でしたが、同行していた方のの部屋はお湯が出なく水しか出なかったんです。世界一流のホテルなのですがそのような状況になっていたりしていました。それに水は飲めないですね。私も水は飲みませんでしたが、少しおなかを壊してしまいました。なぜおなかを壊したのか分からないのですが、料理に非常に劣化した油を使うことが多いそうなので、もしかしたらその油で当たったのかなと思います。それと、すごくびっくりしたのは、官尊民卑と言うような言葉がまさに当てはまるような国だったことです。市庁舎がまちで一番立派な建物なんですね。市庁舎の中には卓球場が整備されていて、昼間から卓球をして遊んでいて、昼休みも一体何時間ぐらい取っているのかなという感じですし、あとみんなではないでしょうけれども10時ぐらいに出勤してきて、2時間ぐらい仕事してご飯食べたなら、近くの湖で泳いできて4時ぐらいに帰宅する。どうしてこのようなことが起こるのかと考えると、所得格差が10倍以上あると言われてますが、都市部の人たちが農民から搾取しているんだなと思いました。この政治体制、社会体制ではこの先順調に行かないだろうなという気がして帰ってきました。しかしながら、日本も油断はできないなという思いでおりますので、私たちは先輩の皆さんが築いてくれたこの豊かで平和な日本を守り、次の世代に引き継いでいくために、私は今38歳ですが、私の世代がしっかりと守っていかなければならないのかなと思いました。

若干余談になってしまいましたけれども、冒頭のごあいさつとさせていただきます。いろいろな部分で今日は皆さんからご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

参加者A

今回就任された西川市長にはこれから2期、3期と頑張っていたいただかなければならないということ踏まえて、私の話を聞いていただきたいと思っております。

地区社協の副会長、事務局長という立場で旭川市社会福祉協議会と連携を取りながらいろいろな事業を進めておりますが、昨年から高齢者の孤独死をなくそうということで安否確認事業というものに取り組んできております。

昨年までの75歳以上の高齢者のデータは我々のもとにきましたが、それに基づいて民生委員等を含めて、安否確認事業の対象者の調査しております。今年75歳になる方についてもこの事業の対象となるわけですが、その人たちをどうやって把握していくのかということについてが非常に難しい問題となっております。市では個人情報なので名簿は出せないという話です。ご存知のように、この事業は孤独死という不幸な出来事を無くするという趣旨でスタートしたはずですが、プライバシー上の問題があるので名簿を出せないということは分かるのですが、この状態でなおかつやれというのか、それとも分かる範囲でいいからとでも言うのでしょうか。この辺をきちんと整理して道を付けてもらわないとやりづらいし、我々も誰もやる気がなくなってしまうのではないかと心配です。この辺についてご回答をお願いします。

市長

大変貴重なご意見をいただきましてどうもありがとうございます。

実は啓明地区での対話集会でも、安否確認をされている方から同じようなご質問、ご意見をいただきました。

今、旭川市から旭川市社会福祉協議会に対し独居老人の皆さんを何とか見ていただきたいということで補助金を出させていただいているのですが、消防の方での独居老人の皆さんを確認する作業ですとか、これは全員じゃないと思うんですけども、あまり動けず、ごみ捨て場まで行けないような方々に対して、環境部のごみ収集車が戸別収集をさせていただいております。

また、先日も民生委員から同じような指摘をいただきました。民生委員も法律によって情報を得ることが非常に難しくなりました。行政が個人情報を出す上での大義名分を突き詰めていないというのか、これは深刻な問題だと思います。

市で直接行う場合は問題がないのですが、例えば市の委託事業に変えさせていただく

ことによって、ある程度情報を提供することができるというような話もあります。

今後、市が直接行うというスタイルがいいのか、それとも社協の皆さんに市が委託するというスタイルで情報を提供させていただくことができるのか、いずれにしても今のままでは精度がどんどん下がっていくと思いますので、ぜひ早いうちに検討させていただいて道筋を付けれるような方向で内部検討させていただきたいと思います。

参加者A

問題は、市長がこの現状を理解していなかったことです。これは市の職員が悪いのです。職員は現状を分かっているのに、引継時にそういう説明をしていないことです。この安否確認についての問題は昨年からあるんですよ。

市長

そうですね。前市長もそういう話を聞いていたのですが、それに対する取組などはまだできていなかったのかもしれない。私は私なりに市長をやらせていただいておりますので、ぜひ頑張っていきたいと思います。

参加者A

何でもかんでも予算を打ち切ってはだめなんです。

最初はヤクルトおばさんが見守っていたんです。経費削減でヤクルトおばさんを打ち切り、その分社協に業務を回して我々に無報酬でやってくれという感じです。常識的に、はいそうですかとはやれないですよ。でも、今、ボランティア精神でやっているという感じですね。その内爆発すると思います。

市長

私たち行政だけではなく、地域の皆さんのご協力がなくては成り立っていかないものです。本当に地域の皆さんと問題点をしっかり真っ正面から向き合って解決していくということが大事だと思っております。

この件については、社会福祉協議会と私どもの間でも協議を進めた方がいいですね。

参加者B

前市長から申し送りがあったかどうかは分かりませんが、春光台の美化運動の一つとして、桜の木を植えて市民の憩いの場をつくるという構想についての話を以前から聞いております。全く進展していないようですが、市としてはどのように考えているのでしょうか。前市長からの引き継ぎはなかったのでしょうか。

住居表示ですが、私の町内から5年かかって、やっと6区まで来ました。しかしながら、今年は6区まで来たにもかかわらず半分しかやっていないようです。市の住居表示の担当者に聞いたところ予算を打ち切られたとの話でした。6区は半分まで来て、後の半分は来年だということですが、どういう訳で予算が打ち切られたのか市長にお伺いしたいと思います。

この重要な市長との対話集会ですが、参加されている方々のお顔を見ると皆さん60代以上の方ばかりで、市長の年代の方は一人もいらっしゃらないようです。若い層の方の中にも市長の意見を聴きたいという方がたくさんいると思いますので、市長と同じ年代の方にもたくさん来ていただくようなお取り計らいをしていただきたいと思います。

市長

春光地区の桜の木の植樹、美化活動について引継は受けてきております。どういう形でそれができるのかということについて改めて検討、協議させていただき、またご報告をさせていただきます。後ほどご連絡先をお聞かせいただきたいと思います。

また、住居表示の件については、本当に申し訳ありませんが財政難というのが一番の原因でございまして、本来であれば1年間で行いたいところを2年に分けたということであ

ります。春光地区は今年と来年ですけれども、ほかに永山の方や北門町、錦町、緑町の方も今後行っていかなければならないという課題が残っております。一日も早く財政状況を良くすることが一番だと思っておりますが、大変申し訳ありませんがご理解いただきたいと思っております。

若い人はまだこの時間帯は仕事をしているんですよ。8時位まで仕事をしている人が多いものですから、平日であれば8時過ぎとか遅い時間でなければ若い人は参加できないかもしれません。例えば土曜日、日曜日、祝日に開催することによって、来てくれる方が増えるのかなと思います。ただ休日は家族で遊びに出かける方もいるでしょうから難しいかもしれませんが、試験的にそういう日程を取ることも今後考えていかなければならないと思っております。また今後例えば若い人が所属しているような団体と対話集会を開催するなどの工夫をしていきたいと思っております。

参加者B

除排雪についてお尋ねいたします。

昨年度は幸いにして雪が少なくて予算が余ったと思っておりますが、いかかですか。それと今年も大まかな予算は組んでいると思っておりますが、今年度、昨年度以上に雪が多かった場合、それに対応できる体制はできているのでしょうか。

市長

平成18年度では4億円程度当初予算より余りました。余ったわけではなく、当初予算より執行額が少なかったということですが、雪が少なかった時に一つ問題が出てきます。幹線道路は厚く舗装しているのですが、住宅街はてんぷら舗装といって薄い舗装ですので、雪がたくさん積もると、春先に雪が溶けたときにアスファルトが割れないのですが、今年は雪が少なかったせいでアスファルトの下の道路の土が凍り、下からアスファルトを押し上げてしまい、150か所以上の道路補修をしなければいけないという状況になっております。4億円まではかかってはおりませんが、その道路の補修にお金がかかりかかっております。

見込みよりも降雪量が多かった場合ですが、私たちと業者で契約している中では、正確な数字は忘れましたが、4メートルと6メートルの間であれば契約した金額の中で行うという契約をしております。それより少ない場合には減額することになりますが、最大で7割保障しますという形で行っております。6メートルより多い場合には上乘せしてお支払いすることにしておりますので、その分除雪費用がかかりますが、増えたからといって除雪が全く止まるということにはなっておりません。

参加者C

このようなまちづくりについての対話は、初めて経験したものですから、もう少し勉強してくるべきだったなと思えました。

町内会の会長を4年近くしておりますが、8月からごみの有料化になるということで、絶えずごみの分別については注意を払い、また町内会では「住みやすいまちをつくろう」というキャッチフレーズで、ごみの問題などに取り組んでおります。

町内のごみステーションがカラスが悪さをして非常に汚く、美観が損なわれているので、町内会でボックス型のごみ箱を設置しましたが、ある市ではその設置について補助をしているような話を聞き、早まったなと思えました。値段を言うと恥ずかしいのですが、1基につき消費税を入れて5万円少し位かかりましたが、5基揃えました。

ごみ箱を設置したことにより環境的には良くなったのですが、マナーの問題が出てきました。例えば決められた日、時間、それから出すごみについてまったく守らないのです。また、ほかの町内からわざわざ持ってきているのを最近発見したので注意しましたが、こういう事が起きています。

旭川の顔である旭川駅が立派になるということで私も喜んでいるのですが、やはり身の丈にあった、そういう行政を考えていただきたいと思っております。

先ほどもお話しがありましたけれども、除雪の問題ですね。業者によって非常に上手な方とあまり上手ではない方がおります。私は会合のあいさつの時に「今年は雪が少なく、排雪が非常にうまくいった」と言いましたら、「どこ見て言っているんだ。」と怒られまして、「道路はまっすぐなのに曲がって除雪しているじゃないか」という苦情がきました。やはり業者にきちんと注意をしてもらいたいと思います。

長い間私の町内会では側溝の掃除をしておりました。私どもの町内会もお年寄りが増え、重いふたを開けるのに大変な苦勞をしていますので、けがでもしたら大変だということで昨年から中止したのですが、永山の方では側溝を掃除しなかったところ、あふれてきたそうです。清掃しなくなると詰まってくると思いますので、何年かに1回は汚泥を取り除く作業をしなければならないと思います。お年寄りが増え、側溝の掃除ができなくなっている町内などから、その掃除の要求があった場合に市の方でやっていただけるのかお聞きたいと思います。

市長

ありがとうございます。本当に申し訳ないんですけれども、ごみステーションの件については、鉄製のものを設置していただける時には各町内の皆さま方をお願いをしているということであります。ステーションネットや看板などは用意させていただいておりますが、ほかの自治体では自治体でごみ箱を設置しているところがあると思います。特に小さい町、3、4万人程度の人口の町であれば、ごみステーションの数も少ないということで、そのようなことも可能なのですが、その部分では私たちよりもすぐ快適なのかもしれません。逆に都市が大きくなればなるほどそういう部分は遅れているというのが日本全国状況なのかと思っております。

市内のごみステーションが8,300か所ありますから、単純に1基5万円とすると4億円ですので今の財政状況では難しい面はあるのですが、将来、財政的に余裕が出てきた時にこれ考えることができれば市民の皆さんが助かるのはわかっております。外からごみ持ってくる人がいるということについても、有料化になるともっと深刻なことになるのかなというような心配をしております。

先日新聞にも出ていましたが、市内のごみステーションに認識番号をつけて、業者や市の職員が各ステーションの排出状況などを確認し、また地域の皆さんからの苦情などをコンピュータで管理をさせていただいて、市として何らかの対応をしなければいけないという時には、しっかりとそこを改善するためにあらゆる手段を取るようになるということです。

環境部次長

ごみステーションの管理については、日ごろから町内会の皆さま方にご協力いただき、ありがたく思っております。

先ほども話がありましたが、これから有料化になりますと、ここに来られている方や町内会の方はきちんとやってくれるのですが、今までの傾向としては、他の町内からごみを持ってきて、収集日ではない種類のを置いていたりということがかなり多いです。そこで清掃事業所では各ごみステーションに番号を振りまして、分別が悪いものですか、捨ててはいけないものを捨てていたりなどについては逐次チェックし、名前が分かればそのお宅を尋ね、分別をきちんとしてくださいと指導をしていきたいと考えております。そうしなければ、有料化になり手数料を払いルールを守って出している方とルールを守らないで勝手に出す方で不公平が生じます。やはりきれいなまち、ごみを少なくしていく、もったいないという意識で資源になるものは資源として使っていこうという、そういう方向に向けて市も頑張っていきたいと思っております。

ごみステーションについては不適正な排出だけではなくまだまだいろいろな問題があります。鉄製のごみ箱の設置については予算の面もありますが、ただ今の状況がいいのかと言うとそうではないので、いろんな状況を確認しながらよりよい方向は何かと考えていきたいと思っております。3・6街にごみ箱がありましたが、いろいろな人が様々なものをそこに捨てていました。そこでごみ箱を置くとごみごみを呼んでしまうということもあるので、

3・6街の町内会の方が中心となってごみ箱を撤去し、ごみはきちんと分別して出しましよう。町内会や居酒屋、お寿司屋などにも協力してもらい、今はきれいになっています。ただ、せっかく町内会の皆さんでお金を出し合っただけで購入していただいた鉄製のゴミ箱ですから、もしそこに不法に、もしくは不適正に排出する人がいた場合には、清掃事業所の方にご連絡いただければ、そういう人に対して指導していきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

生活交流部長

側溝の件については、春頃に町内の皆さんに清掃をお願いしてやっていただいておりますけれども、当然危険なところはできませんし、また詰まっているなどの状況があれば、あふれては大変ですので、側溝については土木事業所、下水については水道局に連絡していただければ、すぐに対応するということになると思いますので、見ていただくだけでも結構だと思います。ひどい状況になっていると思われる時には、ご連絡いただければ事業所で見に来て、すぐ対処するか、もう少し大丈夫という判断もできると思いますので、ご協力をいただければと思いますのでよろしくをお願いします。

それから先ほど除雪の仕方のお話がありましたが、私は昨年まで雪対策の担当でありましたことから、いろいろとお叱りを受けていることもあります。確かに道路事情によってどうしても間口を整理する為に曲がったりする場合もあるのですが、各地区に除雪センターというものを置いております。やはり各業者が請け負っているものですから、どうしても業者によって上手下手というのがあると考えております。それを少しでも無くすために、除雪センターと市が連絡をして、あそこはほかと比べてひどいよとか、入っていないよとか、そういういろいろな情報をいただく中で平準化といいますか、レベルを一緒にしていこうと、各センターの評価などいろいろなことをしておりますので、ぜひ除雪の件につきましてもお連絡いただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

参加者C

業者はきちんとやるものだと思っておりますが、業者によっては、あの地域はうるさいからやらないというようなことはないですね。

市長

もちろん業者にはしっかりやって下さいということで委託していますし、うるさいからやらないというようなことはあってはならないことです。安心して下さい。

参加者B

今回のごみの有料化について、袋の値段が高いという批判があるのですが、8円からどういふわけで10円になったのかわからないのですが、もう少し大きな袋にできなかったのでしょうか。月曜日と木曜日が生ごみの収集日になっていますが、月曜日から木曜日までの間に、大勢の家族のところは4リットルの袋で10円では少しきついのではないかという意見もあります。もう少し大きくできなかったのでしょうか。また8円が10円になったのはなぜでしょうか。

環境部次長

有料化となるごみは、燃やせるごみと燃やせないごみの種類です。その袋のサイズはそれぞれ5種類あります。一番小さいのが5リットル、次が10リットル、その次が20リットル、そしてやや大きいのが30リットルと40リットルの2種類で、それぞれ1リットル当たり2円です。一番小さい5リットルの袋は10円です。

検討当初から8円という話はありませんでした。他市町村では1リットル当たり1円、2円、3円というのが相場なのですが、その中で8割方は2円ないし3円です。2円と決めた理由は、ごみ1リットル当たりの処理費用が6円位かかるのですが、その3分の1を市民に手数料として負担していただくということです。手数料やコストなどを比べると2円位

が妥当というのが道内の他都市でもそういう結論であり、それがいいというわけではないのですけれども、それを含めて旭川市でも慎重に検討した中で一番妥当なのではないかとなりました。

昨年の6月からプラスチックの容器包装と紙製の容器包装、これとプラスチックのごみ、もしくは紙のごみ、この区分がなかなか難しく、皆さんの頭を悩ませてしまって申し訳ないのですが、このように分別を2つ増やしたお陰で、プラスチックの容器包装はかなり資源化になり、皆さんもご自宅で経験したと思いますが、燃やせないごみはほとんど出ない状況になっております。

ごみの手数料ということではご負担を願うので誠に申し訳ないのですが、このようにごみを極力減量、少なくしていきたいということでのごみの有料化です。

参加者B

清掃事業所の指導課のある職員二人がよく勉強をしていて、また一生懸命地域を回っていただき、そのお陰でごみの分別も大分良くなりありがたいと思っているのですが、全ての地域をこの二人の職員だけで回るのは不可能ですので、他の町内を回っている職員の方々ももう少し細かに指導して歩いていただきたいと思います。

ごみの有料化が始まる前に、あらゆるごみを投げようとする人が多く出てくると思います。それを何とかして防ぎたいと思っているのですが、その点も合わせてお考えいただき指導課の活動を活発にしていきたいと思います。

環境部次長

私の方からきちんと事業所の方に言っておきます。

参加者D

まず市長にお礼を申し上げます。約10年以上春光台地区でお願いをしてきました春光台のパークゴルフ場の整備について、予算が非常に厳しい中、自然保護団体や地域住民からの意見など聴き、しっかりと調整していただき、来年の秋にはオープンする予定となりました。ありがとうございました。

別の話になりますが、昨年、旭山動物園に約300万人の入場者があったということで、今、旭川市は黙っていてもテレビ等で放送され、大勢の外国人観光客が来る観光都市となっています。その中で一つ気になることがあります。旭川市には景観条例、また屋外広告物の条例もあると思いますが、各政党は道路沿いに、歩道と車道の間看板を立てています。大体が政党のスローガンです。この看板が観光都市旭川にとっては非常に見苦しいと感じております。せっきやく条例等がありますので、各政党の事務所等にぜひ協力していただきたいとお願いをしたいと思っております。

もう一点ですが、私たちの地区はご覧のとおり国有地がたくさんあり、それが売却され、どんどん家が建ち、交通事情が非常に変わってきているという中で、昨年の12月に信号機の設置要望を120名の署名を集め、旭川警察署長あてに提出しましたが、予算の関係でそれはできなくなったという話がありました。要望書というのは、毎年毎年出さなければその年度で消滅してしまうのか、毎年要望書を出して、そういう実績づくりをしていかなければだめなんだなと思いました。昔の水道事務局の資材置き場がすっかり売れて家がびっしり建ちました。近くには保育園があり、バス通りぞいにはセブンイレブンができました。過去に旭友ストアがあった時にも、その角で何度も交通事故があり、人身事故等もあったという場所でしたので、ぜひ信号機を設置してほしいということで要望書を提出しました。予算と言われれば、どうしようもないのですが、昼間は渋滞となるような場所です。ルールさえ守れば交通事故は起きないのですが、当然信号機を設置したほうが事故の発生が少ないと思います。

市長

はい、ありがとうございます。

景観、広告物の件に関してですが、市内に政党の看板はたくさんあります。もしかしたら何年か前は私の顔もあったかもしれないですね。恐縮しますけれども、まちによっては非常に厳しくしているところもありますが、旭川市というか北海道全体が比較的その辺は緩いような気がします。確かに景観条例はありますが、あまり強くやり過ぎると政党活動の妨害ということにも成りうる面もあるので、やはり各政党に理解をいただくということが必要だと思います。それについて今の現状と今後について検討させていただきたいと思います。

信号機の設置の件についてですが、各地域から市に対して要望をいただいたものについては、その都度市からも警察に要望させていただいておりますが、いずれにしても設置決定者が警察となりますので、なかなか行政の思いも通らないという現状の中で、私ども地域の皆さんの思いに答えきれなくて非常に不満であります。日本の場合は事故が起きてから信号機が設置されるという事例が幾つかあります。そうであってはならないので警察に理解してもらえるように、今後ともぜひやっていきたいと思っております。今お話しされていたのは春光何条何丁目ですか。

参加者D

春光5条8丁目、セブンイレブンがバス通りの中にあリまして、角地です。その向かい側が昔の水道局資材置き場で、その隣が春光保育園になります。

市長

わかりました。調べさせていただきます。

参加者E

今日は年配の方が多く、私も67歳で高齢者の中に入りますが、高齢者に対して必要以上の支援、援助を行い過ぎているのではないかと思います。例えば動物園やいろいろな施設でシルバー料金というのがありますが、市にとっては大変な負担になっていると思います。やはりこの少子高齢化の中、母子家庭の問題、学校教育の問題もありますので、子どもに対する支援の方にも光を当てるべきだと思います。今の社会をつくってきた高齢者ですから敬意は表しますが、寿パスカードを有料としたように、あまり必要以上のことをやることはないかなと思っています。春光西地区では76か77歳になりますと敬老会に招待されます。それ以降毎年ずっと招待されます。お金も大変かかっていると思います。成人式を考えて下さい、20歳の時の1回きりです。だから敬老会も1回だけとは言いませんが、喜寿の77歳、その次は米寿、百寿になる時にだけお呼びして、記念品は今までどおりお渡しするにしても、毎年呼ぶ必要は全くないと思います。その分、子どもたちへの支援の方へ向けるべきだと思っております。やはり限られたお金ですから、行政からの不必要なお金の支出はできるだけ公平にしていかなければならないのではないかと思います。

市長

非常に貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

お年寄りの方に対して市としてお手伝いをさせていただいておりますが、これはやはりお元気でいていただきたいということと、敬老会についてはこういう機会でもないとなかなか外には出て来てもらえないかもしれないので、ぜひ来てもらいたいということで実施しております。実は敬老会でお渡しする景品にかかる経費は年々減ってきている状況です。この敬老会事業については、果たしてこのままでいいのか、それとも今のお話のような形で逆にもう少し豪華な景品をお渡しするという形もあるのかもしれないので、そういったことをぜひ検討しなければいけないという課題認識をもっているところでございます。

動物園の入園料に関しては、無料のままでもいいのかなと思っておりますが、お年寄りの方から、あれだけの動物、施設を見せてくれるのだから、100円、200円払っても誰も文句は言わないよというようなご意見があったり、また観光客は580円では安いのでは

ないかというようなご意見もよくお聞きします。実は今、来年度に向けて料金をどうするかということで検討しているところでございます。

寿バスカードについては大変申し訳ありませんが負担増という形になっており、交付を受ける方が減っております。今までバスに乗らなくても取りあえずカードだけもらっておこうという方が結構いらっしゃったと聞いておりますので、そういう部分で交付数が減ったということも考えられますが、負担が増えたということで控えている方もいると思います。これについては大きな懸案事項の一つとして位置付けておりますので、今後も地域の皆さんや事業者のご意見を聞かせていただきながら考えていこうと思っております。

若い人たちはこれからの旭川を担っていく人たちですので、大事にしなければいけないという気持ちでおります。お年寄りはもちろんですけれども、若い人たち、子育てにも力を入れていかなければならないと思います。どうもありがとうございます。

参加者F

第二庁舎の5階にこども通園センター「ひまわり」という発達に問題があるなどの子どもたちが通っている施設があり、昨年の秋から私の長女がそこに通っています。長女の下に1歳の長男がいるので、おぶって通っていたのですが、通園センターの先生から下の子は預けて来てほしいと言われました。その理由は、発達障害の子は母親と一緒に時間が大切なので、下の子がその場にいるよりもほかに預けてきた方が確実に伸びるのでということでした。理由はわかりますが、預けると言っても実家が近くではないので、保育所に預けるしかないのです。今年の2月の会合の時に、「ひまわり」で託児をしていただけないでしょうかと言ったのですが、場所が確保できないとか予算的にも問題があるということで、なかなか意見は取り入れてもらえなかったです。指導員の先生たちもそういう意見があることは重々承知しており、お母さんたちの言われることも十分わかりますが、私たちの力ではどうすることもできない、直接上の人に言って下さいというような感じでした。今回はこの話をするために参加しました。発達障害児の子育てというのは普通の子育ての4倍は大変だといえます。それだけでも大変なのですが、下の子を保育園に預けた後、「ひまわり」に参加して、また保育園に迎えに行くということはかなり負担になっております。「ひまわり」の中で託児をしてくださることができれば私たち母親はすごく助かります。

市長

ありがとうございます。本当にお話しのとおりだと思います。私も何回も見ていますが、「ひまわり」は狭い中でやっておりますので、スペースの問題や保育士の人数の問題など様々な課題があると思います。このようなご意見ご要望があるということで担当部と検討させていただきたいと思います。

参加者G

先に市長のお答えを聞きましたので、気持ちはずっと収まっております。

平成17年の国勢調査によると、市内の独居高齢者は約6,500人ですが、昨年、民生委員の協力をいただき、また町内会長も名簿以外に抜ける方がいないかと真剣に調査したのですが、確認できたのは約5,500人で、所在が不明の約1,000人の方々が孤独死などのリスクが高いのではないかと思います。その所在不明の方々の把握が絶対に必要です。そのためには市から対象者の名簿の提供をぜひともお願いしたいです。

私は町内会長でよく町内を回ってお茶を飲みに行き、高齢者の方々といろいろな話をします。最初は、会長来なくていいよと言っていた方々も、楽しみにして待っていてくれます。特に一人で住んでいる方は本当はさびしいのだと思います。やはりその人たちに対して、いろいろな話を聞いてあげて、いろんな問題を解決してあげる、そのように取り組んでいきたいと思っています。

お願いですが、弱い人たちの声なき声、気持ちを聞いてあげるため、どンドン表に出てきてください。先ほど、市長が年に一度の敬老会もいいじゃないですかとおっしゃってまし

たが、そのとおりだと思います。とじこもりをなくすためには出てきてもらわなければならないです、それができれば安否確認などは必要ないです。皆さんが外に出てくるまで、地域みんなでがんばって安否確認をしていかなければならないと思っております。市の事業として捉えていただければ一番良いのですが、名簿の提供はできれば時間をかけずに早いうちにいただきたいと思っております。

市長

先日に引き続きまして、今日もありがとうございます。さきほど同じようなご質問がありましたが、同じくぜひ早いうちに検討させていただきます。

参加者C

雪が解けた後、私たちが住んでいる所の道路はかなりでこぼこになっています。土木部に行きましたら、「そのうち落ち着きますから待ってください」と言われましたが、一昨年前にはけが人が出ましたし、2台ほど車のマフラーが破損しました。工事をしている方は、「ここはひどい所だ、根本から直さないとだめだ」と話していました。今年、いくらか雪を残して除雪をしていたようですが、あまり変化はありませんでした。けが人が出たり事故が起こらないように早めに整備をしていただきたいと思っております。

市長

事故が起きてしまうと大変ですので、注意して見ているのですが、今後もそういう道路を発見されたら、市に連絡いただきたいと思っております。そういう危険箇所については対応を惜しめないところだと思っておりますので、補正予算を組んでも補修等を行わなければならない場合も出てくると思っております。

ヨーロッパなどでは石の道路が多いですが、1メートル位まで掘っているんですよ。最初にそのようにつくるにはお金がかかりますが、大体500年位は保つそうです。旭川の道路は残念ながら、最初の投資が違う分傷みが早いです。本州は寒くならないのでこのような道路でも長持ちするんですよ。北海道は本州に比べて土木に関するお金がかかるということがあると思っております。

参加者E

ひとつ教えてください。

私の町内に水道工事屋の資材置き場があり、車のエンジンをかけたまま資材や土砂の積み降しをしています。機械を上げたり下げたりするにはエンジンかけていなければならないのかもしれませんが、その会社に対し、私どもがエンジンを止めて作業してほしいとすることができるのでしょうか。

市長

地域の方が騒音と感じられているのであれば、その会社に対しそのように言うことはいいと思っております。その会社の方がどういうふうに言ってくるかはわかりませんが、どうしてもその仲介が必要ということであれば市や弁護士、警察などがあるのかもしれませんが、その辺は今のお話だけでは何とも判断がつかねますので、まずは直接お話していただくのが一番いいと思っております。

市長終わりのあいさつ

もう少しいろいろなことをご提案などがあつたかもしれませんが、時間が限られており大変申し訳ございません。ただ、この時間のなかでいろいろと貴重なご意見等をいただけたと思っておりますので、一つでも市政に反映できるように検討させていただきます。また、今後いろいろな部分で皆さま方から直接ご連絡等いただいてもかまいません。今日は広聴広報課の職員が皆さんの話を聴くということで来ていますが、そちらの方に連絡していただいてもけっこうですし、私がいつもいます秘書課に連絡していただいてもどちらで

も結構です。

行政でできることはしっかりとやりたいということと、また地域の皆さまからのお力添えもいただくことができるように頑張っていくことが行政の大変重要な役割であるという思いでおりますので、今後ともご支援よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。